



2013年を 振り返って

市長 明智 忠直

2014年の新春を迎え、一人一人が新たな目標に向かって歩み始めたことと思います。

「二年の計は元旦にあり」といわれるように、年の初めには、一年の具体的な計画を立てることが大切です。そして計画を達成するためには、周りの環境を熟知し、理解してくれる仲間が必要であります。そんなことを自分に言い聞かせ、この一年、信念を貫き、市政を担当していきたいと思えます。

また先に進むためには、検証や反省も必要であります。自分にとって、昨年がどんな年であつたか、いくつか挙げて、一年間を振り返ります。

まずは、市長二期目の信任を市民の皆さんからいただいたことでもあります。選挙戦を通じて、人と人との関わりから「恩情」「愛情」「人情」に触れ、最高の勉強をさせていただきました。二つ目は、日本中が沸き返った、2020年東京オリンピック・

パラリンピックの開催決定。国民に大いなる夢と希望を与えてくれました。三つ目は、旭市の情報発信基地を目指す「道の駅」が、建設に向けて進捗していることあります。四つ目は、東日本大震災からの復興が着実に進んだこと。海岸堤防、災害公営住宅、津波避難タワー、津波避難道路の整備など、目に見える形で進められております。五つ目は、台風26号による東京都大島町の災害。あらためて、万全な防災対策を考えねばと感じました。

そのほか、しおさいマラソンから始まった市の大きな行事全てが、恵まれた天候の中で行われました。本年もぜひ昨年にあやかりたいところであります。